

# 平成21年6月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年10月31日

上場会社名 株式会社 ナノテックス  
 コード番号 7772 URL <http://www.nanotex-jp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶋本 篤  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長兼総務部長 (氏名) 飯島 亨  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 札

TEL 03-5795-0301

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年6月期第1四半期の業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	213	—	36	—	36	—	21	—
20年6月期第1四半期	140	△17.7	△11	—	△13	—	△15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	968.64	—
20年6月期第1四半期	△688.71	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第1四半期	1,006	758	75.4	34,052.11
20年6月期	993	746	75.1	33,483.46

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 758百万円 20年6月期 746百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	400.00	400.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年6月期の業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	416	20.3	42	108.2	42	131.5	24	31.6	1,076.90
通期	921	7.7	120	17.6	120	23.6	69	47.0	3,096.11

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 23,120株 20年6月期 23,120株  
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 834株 20年6月期 834株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年6月期第1四半期 22,286株 20年6月期第1四半期 22,770株

1. 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱に加えて、原油高、資源高の影響による企業業績の大幅な悪化と個人消費の低下が顕在化し、景気の減速感が高まってまいりました。

このような環境の中、当社が属する光・ナノテクノロジーを中心とした精密計測機器業界は、地上波アナログ放送から地上波デジタル放送への移行に伴って、液晶パネルの生産設備投資増強が継続的に行なわれ、また、ハードディスクドライブは、次世代DVD規格の統一化から、市場の拡大が継続しておりますが、世界的な急速な景気の悪化を受けて生産計画の見直しが行なわれる可能性が高まってきております。

当社精密計測事業では、液晶製造設備向けの静電容量変位計の販売は順調に推移いたしました。一方で、ハードディスクドライブ検査装置向けの静電容量変位計の販売は、客先の設備投資計画の見直しから、販売は減少いたしました。また、半導体設備業界はメモリー素子の供給過剰による半導体設備投資の抑制が継続されており、半導体製造装置向け静電容量変位計と半導体検査装置向けID認識装置の販売は前事業年度から継続して伸び悩みました。この結果、精密計測事業の売上高は108百万円となりました。

光計測事業では、高画素化が進むデジタルスチルカメラや携帯電話について、積極的な設備投資が継続されており、高画素数に対応した携帯電話用デジタルカメラ用のOTF検査装置の販売が順調に推移いたしました。また、前事業年度で納入が遅れておりました大型・高額設備であるOTF測定装置については、納入が完了いたしました。この結果、光計測事業の売上高は、100百万円となりました。

情報機器事業では、新製品である高速バケット網に対応した画像伝送装置と新型衛星電話インターフェイスの販売を進めております。この結果、情報機器事業の売上高は、4百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期における売上高は、213百万円(前年同期比51.8%増)、営業利益は36百万円、経常利益は36百万円となり、税引前四半期純利益は36百万円、四半期純利益は21百万円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比較して12百万円増加し、1,006百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末と比較して11百万円増加し、680百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少はあったものの、売上債権と棚卸資産等の増加によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末と比較して0百万円増加し、325百万円となりました。これは主に固定資産の減価償却による減少及び保険積立金等の増加によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し0百万円増加し、247百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末と比較して4百万円増加し、165百万円となりました。これは主に仕入債務が増加したことによるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末と比較して4百万円減少し、82百万円となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して12百万円増加し、758百万円となりました。これは主に繰越利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末と比較して11百万円減少した結果、341百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動の結果得た資金は9百万円となりました。これは税引前四半期純利益36百万円を計上したことに加え、減価償却費の計上3百万円、仕入債務の増加7百万円などが増加の主な要因であり、棚卸資産の増加21百万円及び売上債権の増加2百万円、法人税等の支払が15百万円等が減少の主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動の結果使用した資金は4百万円となりました。これは主に保険積立金への支払が4百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動の結果使用した資金は14百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出が8百万円、配当金の支払額が6百万円あったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年8月15日に公表いたしました平成21年6月期(平成20年7月1日～平成21年6月30日)の第2四半期累計期間及び通期業績予想に変更はございません。

なお、本予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と大きく異なる場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積もり実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

棚卸資産の評価方法については、四半期会計期末における棚卸高の算出に関して実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しており、棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行っております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

通常の製造・販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	336,581	348,413
受取手形及び売掛金	209,043	206,742
有価証券	5,011	5,006
たな卸資産	112,768	91,273
繰延税金資産	9,629	9,629
その他	7,763	8,222
<b>流動資産合計</b>	<b>680,797</b>	<b>669,287</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	70,263	72,008
機械装置及び運搬具(純額)	8,386	8,834
土地	90,276	90,276
その他(純額)	10,233	11,394
<b>有形固定資産合計</b>	<b>179,160</b>	<b>182,514</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	566	598
特許権	2,102	2,174
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,668</b>	<b>2,772</b>
<b>投資その他の資産</b>		
出資金	100	100
繰延税金資産	9,933	9,933
投資不動産(純額)	103,685	104,253
敷金及び保証金	20,221	20,177
その他	9,551	4,775
<b>投資その他の資産</b>	<b>143,491</b>	<b>139,240</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>325,321</b>	<b>324,527</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,006,118</b>	<b>993,814</b>

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	91,559	83,797
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,850
未払金	18,516	20,548
未払法人税等	15,943	16,615
未払消費税等	3,999	6,602
その他	5,173	2,282
<b>流動負債合計</b>	<b>165,192</b>	<b>160,695</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	55,000	62,500
退職給付引当金	17,416	16,706
役員退職慰労引当金	9,625	7,700
<b>固定負債合計</b>	<b>82,041</b>	<b>86,906</b>
<b>負債合計</b>	<b>247,233</b>	<b>247,602</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	286,750	286,750
資本剰余金	323,963	323,963
利益剰余金	196,861	184,188
自己株式	48,689	48,689
<b>株主資本合計</b>	<b>758,885</b>	<b>746,212</b>
<b>純資産合計</b>	<b>758,885</b>	<b>746,212</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,006,118</b>	<b>993,814</b>

(2)【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	213,841
売上原価	110,582
売上総利益	103,258
販売費及び一般管理費	67,062
営業利益	36,196
営業外収益	
受取利息	386
受取賃貸料	2,550
その他	6
営業外収益合計	2,943
営業外費用	
支払利息	980
為替差損	255
不動産賃貸費用	958
営業外費用合計	2,193
経常利益	36,945
特別利益	-
特別損失	
有形固定資産除却損	83
特別損失合計	83
税引前四半期純利益	36,862
法人税、住民税及び事業税	15,275
四半期純利益	21,587

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	36,862
減価償却費	3,942
退職給付引当金の増減額(は減少)	709
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,925
受取利息及び受取配当金	393
支払利息	980
為替差損益(は益)	1,766
有形固定資産除却損	83
売上債権の増減額(は増加)	2,301
たな卸資産の増減額(は増加)	21,494
仕入債務の増減額(は減少)	7,761
未払金の増減額(は減少)	2,032
未払消費税等の増減額(は減少)	2,602
その他	361
小計	25,568
利息及び配当金の受取額	393
利息の支払額	961
法人税等の支払額	15,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
敷金及び保証金の差入による支出	44
保険積立金の積立による支出	4,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,819
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	8,350
配当金の支払額	6,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,766
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,825
現金及び現金同等物の期首残高	353,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	341,593

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

事業別受注高・売上高・受注残高明細表

(1) 受注高

(単位：千円)

事業別の名称	前第一四半期累計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	当第一四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	増 減	増減率(%)
精密計測事業	84,875	113,819	28,943	34.1
光計測事業	53,104	39,911	13,193	24.8
情報機器事業	4,009	3,652	356	8.9
合 計	141,989	157,383	15,393	10.8

(2) 売上高

(単位：千円)

事業別の名称	前第一四半期累計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	当第一四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	増 減	増減率(%)
精密計測事業	94,525	108,323	13,798	14.6
光計測事業	40,041	100,654	60,613	151.4
情報機器事業	6,261	4,862	1,399	22.3
合 計	140,829	213,841	73,012	51.8

(3) 受注残高

(単位：千円)

事業別の名称	前第一四半期累計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	当第一四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	増 減	増減率(%)
精密計測事業	48,670	51,078	2,408	5.0
光計測事業	32,066	33,617	1,550	4.8
情報機器事業	13,415	2,790	10,625	79.2
合 計	94,152	87,486	6,666	7.1

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)

(単位:千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額
売上高	140,829
売上原価	80,777
売上総利益	60,051
販売費及び一般管理費	71,832
営業損失( )	11,780
営業外収益	3,009
営業外費用	4,355
経常損失( )	13,126
特別利益	200
税引前四半期純損失( )	12,926
法人税、住民税及び事業税	258
法人税等調整額	2,497
四半期純損失( )	15,681

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)

(単位:千円)

区分	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期) 金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失( )	12,926
減価償却費	5,595
退職給付引当金の増加額	289
受取利息及び受取配当金	394
支払利息	2,215
新株予約権戻入益	200
為替差損	1,176
売上債権の減少額	353
たな卸資産の減少額	11,511
仕入債務の減少額	26,006
未払金の減少額	1,577
未払消費税等の増加額	2,769
その他	2,329
小計	19,522
利息及び配当金の受取額	375
利息の支払額	2,196
法人税等の支払額	10,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	402
無形固定資産の取得による支出	1,330
敷金保証金の回収による収入	9,600
その他	4,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	18,829
配当金の支払額	6,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,176
現金及び現金同等物の減少額	55,829
現金及び現金同等物の期首残高	421,924
現金及び現金同等物の 四半期末残高	366,094